

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：2年

留学先大学：ウィスコンシン大学ミルウォーキー校

現在の学期：Fall semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	9:30-10:20 Principles of Marketing(lecture)
火	8:30-9:45 Basic Skills in Academic Listening & Speaking 11:30-12:45 Personality 14:30-15:20 Power of Words(lecture)
水	9:30-10:20 Principles of Marketing(lecture)
木	8:30-9:45 Basic Skills in Academic Listening & Speaking 11:30-12:45 Personality 14:30-15:20 Power of Words(lecture)
金	9:30-10:20 Principles of Marketing(discussion) 11:30-12:20 Power of Words(discussion)
土・日	

履修科目や近況について

私はマーケティングに興味があり消費者心理などについて学びたかったので、マーケティングと心理学の授業を履修しました。どちらも基礎の授業を受けないと、より具体的な授業を履修することができなかったので、現在は前提条件（prerequisite）のない授業を中心に受けています。すべての授業に共通しているのは、canvas という moodle のようなものを使うことで、オンラインテキストの購入や課題提出、シラバスの確認など授業に関連するものは全てここに入っています。

Basic Skills in Academic Listening & Speaking

これは第一言語が英語ではない生徒が対象の EAP という授業です。15 人ほどの少人数クラスです。プレゼンテーションやリスニング（授業でのノートの取り方）などについて学びます。難しい内容ではありませんが、2 週間に 1 回ほどの頻度でプレゼンをしています。課題は今のところ大変とを感じるものは特にありません。大きな課題としては、毎月一つ、自分が行ったイベントについてのプレゼンのようなものを動画にとって

提出するというものがあります。英語の授業にもいくつかのレベルがあるのですが、今のところは難しくないという感想をたくさん聞いています。

Principles of Marketing

これはマーケティングの初級の授業です。lecture では先生の講義を聞き、授業を通して出席確認も兼ねたクイズに回答します。discussion では割り当てられた 5 名のグループでプレゼンテーションをします。準備期間は授業 2 回分ほどでした。このようなプロジェクトが続きます。テキストはオンラインのもので、課題と連携されていたため中古のものを買うなどの選択肢はありません。毎週 30 ページ (1 チャプター) ほどのリーディングが課題として出され、その内容の確認テストのようなものもオンラインで受けます。成績は、課題・出席が 40%、テスト 30%、ディスカッション 30%という割合です。テストは全部で 3 回ありますが、2 回のテストの成績が良ければ 3 回目は免除されるという形です。

Personality

これは心理学の授業の 1 つです。人格の形成について、性格の要素や分析方法について学んでいます。大きい教室で受けていますが、近くの人と話し合っという形ではほぼ毎回小さなディスカッションを行います。こちらにも課題と連携されたオンラインテキストの購入が必須になっています。課題は毎週 1 チャプターずつ読み、その内容に関するテストを受けるものに加え、Words problem という記述式の問題も課されます。授業の最後 10 分ほどで毎回出席確認も兼ねた、授業内容を問う lecture quiz があります。成績は大体、課題 50%、クイズ 15%、テスト 35%という感じです。テストはオンラインで 4 回行います。

Power of Words

これは言語学の授業の一つです。専攻とは違いますが、履修できる授業や時間割の兼ね合いで受講することになりました。言葉というものについて、文法やアクセントなど様々な視点から考えていきます。lecture では授業を聞き、小さな話し合いも行います。discussion ではさらに少ない人数になり、課題で読んだ文章のテーマを中心に話し合います。課題は二つほどの読み物とその reflection、また授業内容に関するクイズが毎週あります。そしてテストが 2 回あります。成績はクイズ 30%、テスト 30%、ディスカッション 40%という割合です。この discussion は TA という教授のアシスタントの方が担当しており、授業で扱った内容を深掘りしていきます。生徒たちが、それぞれ自分の意見や経験に基づいて活発に発言しています。

全体を通して、課題の読み物の量が多く、授業での話し合いの機会も多いです。専門用語やアクセント、速さなども相まって理解がつかなくなることもあります。授業では課題の読み物の内容について先生が解説するということが多いので、予習として

テキストを読んでいくと授業内での理解がしやすくなる印象です。話し合いについて、私はかなり恐れていましたが、現地の学生さんたちはみんな優しく、私の英語が物足りなくても理解しようとしてくれることがほとんどです。授業内で先生に意見を求められたときに挙手して持論を述べ、それに対してまた意見を述べるというのは日本にはない光景で驚きましたが、新鮮で面白いです。

生活面では、ルームメイトがすごく優しい子で、学校が始まる前に学校内やスーパー、湖などを案内してくれて、心配していた私の緊張をほぐしてくれました。留学生のオリエンテーションで日本人の留学生にも会い、さらに安心感が得られました。学校が始まってから 1 週間ほどは新歓の時期で毎日たくさんのイベントが行われていたので、ルームメイトや他の留学生と積極的に参加しました。無料で食べ物をもらえる機会が多く、「アメリカ」を感じる機会だと思います。他にも Milwaukee Internationals という学外の団体の活動にも参加しています。そこではミルウォーキーのツアーなどがあり、ミルウォーキーにいる外国から来た人たちとコミュニケーションをとることができます。みんなネイティブじゃないからか、変に緊張せずに会話することができてすごく楽しいです。



←左：私の部屋（二人部屋）
右：ミシガン湖
（徒歩 15 分ほど）

一方で、想像以上に現地の友達が作りにくいと感じる部分もあります。自分から声をかけたり、遊びに誘ったりすることができれば一番ですが、英語でのコミュニケーションに不安があるからこそなかなか実行するのが難しいです。「友達の友達」という関係から仲良くなることが多いので、いろんな人と交流することが鍵だと思います。なにか団体に所属しようと思いましたが、スポーツ系は部活ばかりで日本のサークルに当たるものはかなり少ないです。また、宗教や勉強関連の団体が多い印象です。私が参加している日本文化の団体や日本語会話テーブルという日本に関連したものでは、日本に興味のある人と交流できて楽しいです。

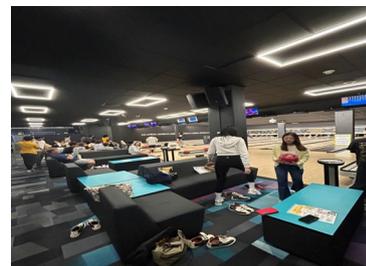
私は sandburg east という寮に住んでいます。部屋をルームメイトと二人で使っており、キッチンやトイレ、シャワーはスイートメイト 5 人と共有しています。みんな優しく、特に困っていることはありませんが、ある子の彼氏が一人でキッチンで料理していたり、一人で入ってきたりすることがよくあることには驚きました。10 人くらいの友達を招いてみんなが共有スペースに座っていたこともあります笑。他の友達の話聞いて

いと、各部屋ごとに個性があるのでどんな雰囲気になるのかは人次第という感じです。学内にある寮なので、授業の15分前に部屋を出て間に合うのはすごく楽です。洗濯は地下にあるランドリールームで洗濯も乾燥もすることができ、基本的に週1くらいの頻度で行きます。食事は1日1回食堂を使えるミールプランに入っています。カフェテリアではサラダやフルーツ、スイーツ、メイン3種類ほどとサイドメニューのような形でかなり充実しているなど私は感じますが、1か月ほど経つと飽きてきてしまうかもしれません。お米も出ることはありますが、もちろん日本のお米ではないです。



↑ 新歓として行われたイベントの様子 (free food や ikea trip)

アメリカに来て1か月が経ちましたが、まだまだ不安なこともたくさんあります。家族や友達が恋しくなるし、涙が止まらない時もあります。思い通りにならないことの方が多いですが、理想を高く持ちすぎずにできることを頑張ろうというマインドで今は過ごしています。来たばかりの時に、ある現地の友達がいってくれた「私たちでも大変なのに、母国語ではない言語で、同じ量の授業をとっているのはスゴイ。まず、自分の国を出ていることがスゴイ。もし意地悪な人がいても、その人は所詮英語しか喋れないから、違う言葉に挑戦しているあなたたちは自信もっていいんだよ。」という言葉にすごく救われ、強く心に残っています。簡単ではありませんが、いろんな人に会う機会を増やすとその分素敵な出会いがあるなど感じます。授業や英語で疲れはたまりますが、それ以外の時間にもアクティブに活動するとより充実した生活になりそうです。これは私の今の目標でもあります。



↑ 学内の無料施設 (体育館のジム・ランドリー・ボーリングとビリヤード)

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：2年

留学先大学：ウィスコンシン大学ミルウォーキー校

現在の学期：2026 spring

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	10:00-11:15 Intro to social psychology 11:30-12:45 Current topics (positive psychology and happiness)
火	11:30-12:45 Consumer behavior
水	10:00-11:15 Intro to social psychology 11:30-12:45 Current topics (positive psychology and happiness)
木	11:30-12:45 Consumer behavior
金	
土・日	オンライン Health aspects-exercise/nutrition

履修科目や近況について

【学習面】

今期は第2セメスターだったため、より専門的な内容を扱う授業を履修することができた。自分の興味のある分野で履修可能な科目から授業を選択したが、基礎の授業はすでに履修しているため全体的に難しい授業が多くなった。難易度に対する不安が大きいうえ、すべてが対面試験を行うものだったため、それぞれにしっかり取り組めるようオンライン授業を含む12単位という最小限の単位での履修となった。UWMは1クラスのみオンライン授業が留学生に認められているように、学校によって制限がある可能性があるため問い合わせた方が安心できると思う。

○ **Intro to social psychology** は私が興味のある社会心理学の入門の授業で、PhDの方が授業を担当していた。40人ほどの授業だが、グループでの話し合いが毎回あり、そこで発言できるようにテキスト内容を理解し、授業も注意深く聞くことが大切だと感じる。成績は授業内アクティビティや課題、3度の対面試験によってつけられる。試験には文字の大きさも指定された一枚のノートの持ち込みが許可されている。

○ **Current topics (positive psychology and happiness)** は心理学の授業でレベルが 600 に設定されているものだ。幸福についての授業だけど、授業をとったからといってポジティブになるわけではないという教授からの冗談半分の注意が最初にあった。出席はとられないが授業スライドや資料は全く canvas にアップロードされないため、授業に出席し、教授の話聞きながらノートをとることが必須。全体で 3 度の対面試験があるほか、体験的なものを含めた課題と合わせて成績がつけられる。

○ **Consumer behavior** は私が留学前から最も興味を持っていたビジネス、マーケティング関連の授業で 30 人ほどの規模だ。教授が消費者心理を専門に研究しているため、分かりやすく熱心に教えて下さる。実際の研究や記事を取り入れての授業で面白い。2 週間に 1 回ほどの課題と 3 回の対面試験、final paper で成績がつけられる。

○ **Health aspects-exercise/nutrition** は運動学の授業でタイトルに興味を持ったうえに、アメリカという国に住む人の exercise や nutrition に対する見方を知れたら面白いなと思い履修した。シラバスの途中に「ここまでよく読んだ」というような内容とともに教授にメールを送った先着 10 名に追加得点を与えるなどの面白い仕掛けが含まれていて、オンラインでもどれほど真剣に取り組んでいるかを計られている。オンライン授業ではあるがリーディングや動画視聴だけでなく、canvas に意見を書くという形でのディスカッションや実験のような課題も多く設定されている。試験はなく、全体を通した課題等提出物の点数によって成績が決まる。

今期は自分が本当に興味のある授業をとっているうえ、対面試験が多いため授業に全力集中している感覚がある。教授によっては早口の場合もある専門的な英語を 75 分間、聞き逃さないように受けているのは「勉強しているな」と感じるとともに脳みそが疲れていることも感じる。当たり前かもしれないが、私はまだ英語を日本語のように理解することはできないため、少しでも油断すると先生の話が全く入ってこなくなる。正直、現段階では残り 15 分頃から集中するのが難しくなってくることも多いが、授業を通して知識も英語力も上がるように頑張っていきたい。

【生活面】

新しいスイートメイトが来るなど少し環境に変化はあったが第 2 セメスター目ということで不安も少なく過ごせている。1 セメスターを終えて帰国した子や現地の子が留学に行くなどで、いなくなってしまった友達を思い出して寂しくなることもあるが、授業以外の面では比較的心配は少ない。intramural のバレーボールや exercise のクラブなどに友達から誘ってもらえているため何かには所属しようかなと考えている。fall semester の始まりは学校主催のイベントが多かったが spring semester はあまり盛んではなさそうで、すこし残念な気持ちもある。また、日本人留学生の友達と今学期になってから「自分の言いたいことが言えない瞬間が多すぎる」という話をよくする。半年近

く終えてはいるが、胸を張って英語力が伸びたとは言えない気がする。ただ、私たちの結論は、こっちの生活に慣れてきて授業内外で自分から話そうという意志を持つ機会が増えてきているから、こう感じる人が多いというものになった。留学生が自分だけの少人数授業やネイティブの中に自分だけ混ざるということが増えていることも関係していると思う。自己満足な結論かもしれないが、前向きにとらえ、話そうと思った時にとりあえず口に出していくことで少しずつ表現できるようになると信じようと思う。

気温については、年が明けてから一段と寒さが厳しくなっているように感じる。現地の人によると、今年の寒さは異常なようで、1月末には最高気温が-20度、体感気温は-40度という日があり、授業やイベントがすべてキャンセルになった。他の日はここまで寒くはないが、この寒さも2月いっぱいまでだという。とはいっても、外出するのは授業に行くまでの通学路やバス停までくらいで、あとは友達の家や寮内で生活は完結するため冬は特に室内にいる時間がほとんどだ。



食事については、私はほとんど自炊することなくカフェテリアを最大限に活用している。カフェテリアに行くたびに、フルーツやベーグルなどの食料を多めにとり、夜ご飯や朝ごはんになっている。また、サンドイッチを作るコーナーでハムなどの具材だけとりラップで保存しておくことで、自分で買ったパンと合わせて好きな時にサンドイッチを食べるというのに最近ハマっている。ラインナップがあまり変わらないため、飽きては来るがカフェテリアの費用も支払っているため、できる限り他で食費を出したくないなという気持ちがある。





友達作りに関してはやはり、友達の友達と友達になるというのが現実的なように感じる。こちらは、学部に捉われずに、本当に自分の時間割を組み立てているため、授業がほとんど同じという人はいないに等しく、みんな授業は勉強に来ているため友達を作ろうと思っている人は少ないように感じる。だから、なにかのクラブに入ることやイベントで友達の友達に会うことが良いきっかけに

なると私は思う。私は Milwaukee internationals で知り合った友達と想像以上に仲良くなり、互いに友達を連れてみんなでその子の家で遊ぶことが多い。



↑学校のイベントにて無料でNBA観戦



↑地元のチームのドジャース戦

差別というものを私は一度もされた感覚がなく、みんな優しく、普通に接してくれる。ただ、旅行でNYやLAに行ったときにされたという人もいる。また、治安についてはバス停でたまにお金をくれと言われることがあったりするがそれ以上の経験はない。その時は現地の友達がお金を渡していたり、No thank you と断ってくれたりした。総じてミルウォーキーは危険度が高いわけではないと感じる。しかし、現地の友達によると学校から数ブロック行った先は危険だといい、決して日本と同じ水準を期待はできない。

アメリカに来てから、いろいろなところに行けた。友達の運転でキャピタルのマディソンに行ったり、サンクスギビングでシカゴに行ったり、1月にフロリダのディズニーに行ったり、クリスマスにはルームメイトの実家でしばらく過ごさせてもらったりして、様々な経験ができた。特にクリスマスは、ルームメイトのご両親が我が子のように接してくださって、私の分までプレゼントを用意してくれた。また、親戚が多いルームメイトのあらゆる親戚の集まりに参加させてもらった。かなり緊張したが、いろんな人と話をして、現地の文化を体験することができた。



↑ルームメイトの実家でのクリスマス、寿司を一緒に作った



↑クリスマスクッキー作り



↑スキー



↑ウィスコンシン州のキャピタル